

雑司が谷未来遺産推進協議会シンポジウム

# これからの雑司ヶ谷の道案内を考える

2020年1月30日(木)

18:30~20:30

国指定重要文化財

場所：自由学園明日館 講堂  
(豊島区西池袋 2-31-3)

定員：200名

料金：入場無料

申込：当日直接会場へ(予約不要)

問合せ：雑司が谷未来遺産推進協議会事務局

03-3981-4732(平日 9:00~17:00)

主催：雑司が谷未来遺産推進協議会

共催：日本女子大学家政学部 薬袋研究室

協賛：自由学園明日館

## 第一部 基調講演

「気持ちよく歩ける道案内の  
ためのサインとその連携」



中村豊四郎氏

アール・イー・アイ株式会社イグゼクティブディレクター(\*)  
公共に役立つことを主旨としたデザイン事務所で、東京メトロや都営地下鉄ほか交通施設のサインシステムおよび各駅サイン実施設計。郡上八幡や江東区砂町などの広域案内サイン、その他文化施設などの案内・説明を手がけてきた

\* 今年、代表を萩野美有紀と交代

## 第二部 パネルディスカッション

パネリスト(五十音順・敬称略)

近江正典(威光山法明寺住職)

清田明(雑司が谷弦巻通商友会長・NPO法人雑司が谷ひろばくらぶ会長)

小池陸子(としま案内人雑司ヶ谷 会長)

関口正明(雑司が谷三丁目在住)

高野之夫(豊島区長)

中村豊四郎(アール・イー・アイ)

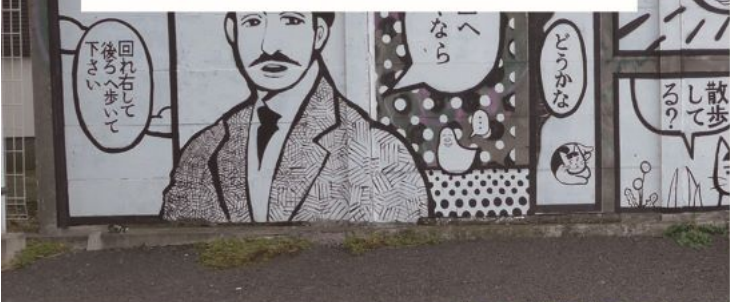
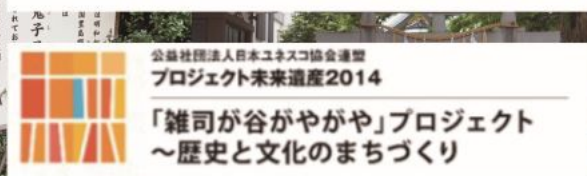
曳地隆宏(雑司が谷二丁目町会会長)

コーディネーター

薬袋奈美子(日本女子大学教授)



「雑司が谷未来遺産推進協議会」とは  
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟より第6回「プロジェクト未来遺産」として、「雑司が谷がやがや」プロジェクト～歴史と文化のまちづくり～が登録されました。この登録を受けて設立されたのが「雑司が谷未来遺産推進協議会」です。



# 2019年12月5日にワークショップが開催されました。

雑司が谷地域文化創造館にて、雑司が谷未来遺産推進協議会委員及び雑司が谷の道案内に関心のある方を対象に、雑司が谷地域内の来訪者に積極的に案内して良い道を確認し、雑司が谷の街中にある道案内のサインの実情が紹介されました。

- ・案内板・サインの現状報告 / 葉袋研究室
- ・区のデザインガイド説明 / 文化観光課
- ・現在案内されているルートについて / 未来遺産協議会お散歩ルート

豊島区文化財マップ  
雑司が谷七福神  
ボランティアガイド



討議では、参加者のみなさんに、道案内に関する各自の意見・報告への感想をポストイットに記入していただき、ディスカッションを行いました。現在「おもてなしの道」（仮称）として検討している道は基本的には問題ないが、災害時に安全配慮が必要な道が含まれることから状況に応じた改善が必要であることが指摘されました。また、住宅地・静かなエリアでの観光客への対応について何か工夫するべきではないか、といった意見がありました。

## シンポジウムでは…

基調講演での道案内の基本的な考え方や他の地域での事例を踏まえて、ワークショップでの報告・討議を踏まえ、今後の雑司が谷の道案内をどのようにするかをディスカッションします。

来街者が迷いにくい街にすると同時に、住民が安全・安心して歩くことができ、また商店街が生活を支える場としても維持されるための道環境（道の設えやマナーの共有化等）を話し合う予定です。旧高田小学校跡地に雑司が谷公園が完成し、環状第5の1号線の整備の整備も進む中、これからの街の在り方を考えるきっかけにしたいと思います。

（左図）現在案内されているルート及び「おもてなしの道」（仮称）重ね図

